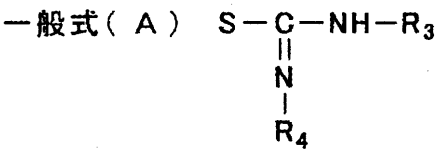
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成19年11月8日(2007.11.8)

【公開番号】特開2006-247937(P2006-247937A)
【公開日】平成18年9月21日(2006.9.21)
【年通号数】公開・登録公報2006-037
【出願番号】特願2005-65517(P2005-65517)
【国際特許分類】
Ｂ４１Ｎ　1/14　(2006.01)
Ｇ０３Ｆ　7/00　(2006.01)
Ｇ０３Ｆ　7/004　(2006.01)
Ｇ０３Ｆ　7/11　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｎ　1/14
Ｇ０３Ｆ　7/00　５０３
Ｇ０３Ｆ　7/004　５０１
Ｇ０３Ｆ　7/004　５２１
Ｇ０３Ｆ　7/11　５０１

【手続補正書】
【提出日】平成19年9月20日(2007.9.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
支持体上に熱により疎水性へ変換する層及び最表層として親水性層を設けてなる平版印刷版において、該親水性層が化１、化２または化３で示される官能基を含む水溶性ポリマーを含有する事を特徴とする平版印刷原版。
【化１】



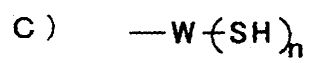
化１中、R_3は水素原子、アルキル基、フェニル基、アミノ基、アミジノ基を表わし、R_4は水素原子またはアミノ基を表わす。
【化２】



化２中、Ｘは炭素原子または燐原子を表わし、Ｙは酸素原子、硫黄原子または窒素原子を表わす。Ｚは硫黄原子、窒素原子またはＮＨ基を表わす。また、R_5はアルキル基、アルコキシ基、アリール基、ピロリジノ基、ピペリジノ基、メルカプト基、チオセミカルバジド基を表わす。Ｘが燐原子の場合にはR_5はアルコキシ基でありＸに２個置換している。さらにＹとR_5は炭素原子、窒素原子等を介して環を形成していても良い。また、Ｚが

窒素原子またはＮＨ基の場合にはＸ（＝Ｙ）$Ｒ_5$の原子団はジチオカルバミン酸基またはＮ－置換チオウレア残基を表わす。

【化３】

一般式（Ｃ）　

化３中、Ｗは含窒素複素環を表わし、ｎは１または２を表わす。